

我が国の近代教育の魁 京の学校・歴史探訪

# 京の学校 歴史探訪

我が国の近代教育の魁

School History

Museum of Kyoto



夢心くさむ  
図書館

京  
館内  
史博

376.2

キ

京都市学校歴史博物館 編集

# 京都空襲

爆撃で児童の犠牲者も

昭和二十年三月十日の東京大空襲で、東京はその四割が焦土と化した。続いて名古屋、大阪にも空襲があり、阪神地区の主要都市も壊滅状態であった。

空襲の被害は軍事秘密とされ、新聞も報道管制によって「被害は軽微」とか、「京都府南部に再び爆弾投下」ぐらいの記事であった。このため、京都には空襲がなかったと思っている人も多い。

修道小学校（東山区）の「百年史」には、修道学区に爆弾が投下された記録がある。これは震度三の京都地震があつて、被害もなく学区民がやっと安心して眠りについた直後の爆撃であつたといわれている。

午後十一時二十三分ごろ、「修道校の隣接地に爆弾が投下され、校舎東北の民家に火災が発生した。類焼はまぬがれたが、講堂、北校舎・東校舎の窓ガラスは全部、爆風のために飛散し、講堂の屋根は破れて見るかげもないありさまとなつた。（略）特にこの空襲によつて、修道小学校の児童九名が尊い生命を失つた。このことは修道校百年の歴史のなかで、最も悲惨な出来ごとであつた」と記されている。昭和二十年一月十六日、東京大空襲の二カ月前のことである。

さらに六月二十六日、再び西陣の正親・出水・待賢の三学区に投下された七個の高性能爆弾は、家屋破壊と死傷者を出す被害をもたらした。

（平成八年九月七日）



空襲で被害を受けた修道学区

頒価 1,400円 (消費税込)



京都市右京中央図書館



330933450

02052013

M746AD2